

オーディオを録音

オーディオ入力デバイスから録音する

マイクやステレオなどの入力デバイスから、簡単にオーディオをキャプチャ(録音)することができます。

アナログ ソースから録音するには:

- 1 適切なケーブルを使用して、アナログ装置をコンピューターに接続します。レコード プレーヤーやテープ プレーヤーなどのステレオ装置をサウンド カードのライン入力接続に接続します。

警告 装置の損傷を防ぐために、お使いのオーディオ装置に付属のマニュアルでソースとライン出力端子の適切な接続方法を調べてください。

ヒント: ターンテーブルから録音する場合は、フォノ入力付きのアンプ/レシーバーを使用します。ほとんどのターンテーブルでは、コンピューターのサウンド カードに直接入力できるだけの強い信号が出力されません。

- 2 タスク領域のプロジェクトに追加領域で、**オーディオを録音**をクリックします。

オーディオを録音ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスには、最大レベルを示す「ライトアップ式」のメータがあります。

- 3 必要に応じて、以下のオプションを設定します。

- **キャプチャ元:** リストからサウンド カードを選択します。
- **入力** (Windows XP のみ): オーディオ入力チャンネルを選択します。たとえば、マイクで自分の声を録音したい場合は、「**マイク**」を選択します。
- **録音レベル:** スライダーをドラッグして、録音の音量を調節します。音量が大きすぎると、歪みが発生することがあります。また、音量が小さすぎると、最適なサウンドを得られないことがあります。
録音レベルは、インジケーターがメータの中央に達するようにし、ときどき中央を超える程度に調節します。インジケーターが常に上端まで達している場合は、録音レベルがゼロ dB のクリッピング ポイントを超過しており、レベルが高すぎることを意味します。この状態が発生した場合は、録音レベルを下げてください。
クリッピングが発生しない録音レベルをオーディオを録音で自動検出する場合は、**自動**をクリックします。オーディオを録音によって、可能な範囲で最大の録音レベルが使用されます。クリッピングが発生する場合は、録音レベルが自動的に下げられます。この新しい録音レベルでクリッピングが発生しない場合は、このレベルが使用されます。
- **バランス:** スライダーをドラッグして、左右のスピーカーにおけるオーディオ レベルのバランスを調節します。
- **キャプチャ設定:** ファイル フォーマット、エンコーダーの種類、ビット レート、自動トラック検出、ファイルの場所など、カスタマイズされた設定を定義するには、**オプション**をクリックします。

- 4 ソース オーディオの再生を開始します。

- 5 **録音**をクリックして録音を開始します。

- 6 アナログ ソースの再生が終わったら、**停止**をクリックして録音を停止します。

- 7 録音が完了したら、**完了**をクリックします。

注意 録音オーディオをさらに編集する場合は、オーディオの品質を完全に維持するために WAV フォーマットで保存することをお勧めします。録音オーディオに変更を加え終わったら、その録音オーディオをいずれかの圧縮フォーマットに変換してファイル サイズを小さくします。その後、オリジナルの WAV ファイルを削除します。

ページのトップへ

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Easy Audio Capture

Easy Audio Capture(フル モード)

Easy Audio Capture を使用して、以下の操作を行います。

- インターネットのストリーミング オーディオを録音する。ストリーミング ラジオのファンなら、曲の録音、アーティストやアルバム情報の収集、iTunes ミュージック ライブラリへのデータ転送など多彩な機能を備えた Easy Audio Capture が手放せなくなるはずです。
- LP アルバムやオーディオ カセットをデジタルとして復元し、保存する。
- コンピューターの内蔵マイク、またはコンピューターに接続したマイクでオーディオをキャプチャする。

Easy Audio Capture は、フル モードまたはミニ モードで使用できます。

フル モードでオーディオを録音するには：

1 必要に応じて、以下のオプションを設定します。

- **キャプチャ元**:リストから状態を選択します。
- **録音レベル**:スライダーをドラッグして、録音の音量を調節します。音量が大きすぎると、歪みが発生することがあります。また、音量が小さすぎると、最適なサウンドを得られないことがあります。

録音レベルは、インジケータがメータの中央に達するようにし、ときどき中央を超える程度に調節します。インジケータが常に上端まで達している場合は、録音レベルがゼロ dB のクリッピング ポイントを超過しており、レベルが高すぎることを意味します。この状態が発生した場合は、録音レベルを下げてください。

クリッピングが発生しない録音レベルを Easy Audio Capture で自動検出する場合は、**自動**をクリックします。Easy Audio Capture によって、可能な範囲で最大の録音レベルが使用されます。クリッピングが発生する場合は、Easy Audio Capture によって録音レベルが自動的に下げられます。
- **バランス**:スライダーをドラッグして、左右のスピーカーにおけるオーディオ レベルのバランスを調節します。
- **インターネット オーディオを録音**:トラック毎に分割して録音して、iTunes ミュージック ライブラリに転送したい場合は、**個別トラック**を選択します。全体を一つのオーディオ ファイルとして保存する場合は、**単一トラック**を選択します。
- **キャプチャ設定:オプション** ボタンをクリックして、キャプチャ設定ウィンドウを開きます。録音データを iTunes ミュージック ライブラリに転送するには、以下の設定を選択します。
 - ◆ **保存先** タブをクリックし、ドロップダウン メニューから **iTunes** を選択します。
 - ◆ **次の時間の無音の後、トラックを分割する** チェックボックスを選択します。最適な結果にするには、時間を 1 秒から 2 秒に設定します。
 - ◆ 保存先として iTunes を選択した場合、オーディオ フォーマット設定は自動的に AAC に変更されます。品質ドロップダウン リストから**低**、**中**、または**高**のいずれかをを選択します。
 - ◆ **OK** をクリックしてダイアログを閉じます。

注意: ヘルプ ボタンをクリックすると、キャプチャ設定ダイアログ ボックスで使用可能な設定の詳細が表示されます。

- 2 ソース オーディオの再生を開始します。
- 3 **録音**をクリックして録音を開始します。
- 4 **オプション**:キャプチャ設定ダイアログ ボックスで指定した録音時間を延長する場合は、録音の残り時間の横にある **+** をクリックして録音時間を 1 分ずつ追加します。
- 5 アナログ ソースの再生が終わったら、**停止**をクリックして録音を停止します。
- 6 録音が完了したら、**閉じる**をクリックします。

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Audiobook Creator ウィンドウ

Audiobook Creator を使用して、既存のオーディオ CD、iTunes、iPod、またはその他の接続したポータブル デバイスのオーディオブックをハードディスク、または MP3 ディスクのオーディオブック ファイルに簡単に変換できます。インターネットからダウンロードしたパブリックドメインの MP3 オーディオブックの変換も Audiobook Creator でできます。

注意: Audiobook Creator では、コピー保護されたファイルのオーディオブックを変換することはできません。

左側の Audiobook Creator タスク ペインには以下のタスクが含まれています:

● オーディオブックの追加

- **CD からリッピング:** このタスク ボタンを選択して 1 つまたは複数のオーディオ CD からオーディオブックをリッピングします。このタスクを選択すると、CD からトラックをリッピング ダイアログが開きます。このダイアログでは、ファイルの保存場所を決定するなど複数のタスク特有の設定にアクセスします。
- **ファイルまたはフォルダーを追加:** このタスク ボタンを選択すると、コンピューターのオーディオファイルからオーディオブックを作成できます。

注意: トラックがコンピューター上の一時的な場所にリッピングされ、アプリケーションが閉じると削除されます。

● 出力先

- **iTunes** (インストールしてあること): オーディオブックを iTunes に出力する場合は、このオプションを選択します。すべてのトラックが自動的に一つの iTunes オーディオブック ファイル (.m4b) に組み込まれます。以下の iTunes オーディオブック機能も付きます。
 - ◆ 各トラックは独自のチャプターを持ち、ナビゲーションが容易になる
 - ◆ 一時停止/再開機能
 - ◆ ブック カバー アートが含まれ、iTunes で表示される
- **iPod/iPhone** (接続されており、iTunes がインストールされていること): オーディオブックを iPod または iPhone に出力する場合は、このオプションを選択します。以下のオーディオブック機能も含まれます:
 - ◆ 各トラックは独自のチャプターを持ち、ナビゲーションが容易になる
 - ◆ 一時停止/再開機能
 - ◆ ブック カバー アートが含まれ、iTunes で表示される
- **その他のポータブル デバイス** (接続されていること): オーディオブックをポータブル デバイスに出力する場合は、このオプションを選択します。
- **MP3 ディスク:** オーディオブックを MP3 ディスクに出力する場合は、このオプションを選択します。ソース オーディオブックが複数の CD で、圧縮形式の一つのディスクにまとめたい場合、このオプションが便利です。

注意: MP3 ディスクの再生にはこのフォーマットをサポートするプレーヤーが必要です。

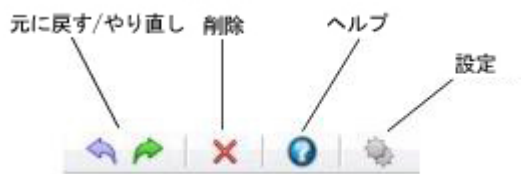
- **再生リストとして出力:** オーディオブックを再生リストとしてハードディスクに出力する場合は、このオプションを選択します。再生リストは Windows Media Player などの標準プレーヤーで PC で再生できます。後で再生リストをポータブル デバイスに送信することもできます。Audiobook Creator は以下の再生リストをサポートします:

フォーマット出力	説明
----------	----

.M3U	<ul style="list-style-type: none"> ● 標準オーディオブック再生リスト ● チャプターが結合されていないため、多くのプレーヤーがチャプター スキップをサポートします ● 一部のプレーヤーは、ブックマークを使用する場合、再生リストの一時停止/再開をサポートしていません
.WPL	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows Media Player オーディオブック再生リスト ● チャプターが結合されていないため、多くのプレーヤーがチャプター スキップをサポートします ● 一部のプレーヤーは、ブックマークを使用する場合、再生リストの一時停止/再開をサポートしていません
.MP3	<ul style="list-style-type: none"> ● 統合した再生リスト ● チャプター スキップはサポートされていません ● ほとんどのプレーヤーが、ブックマークが使用されている場合、単一ファイルの一時停止/再開をサポートします

Audiobook Creator ウィンドウでは以下の機能も使用できます。

- ツールバー



- **元に戻す/やり直し:**最後に実行したアクションを元に戻したり、やり直す場合にこのボタンを使用します。
- **削除:**削除したいトラックを選択し、削除ボタンをクリックします。
- **ヘルプ:**Audiobook Creator ヘルプ ファイルを開きます。
- **設定:**設定ダイアログを使用して、推奨オーディオ品質やファイル フォーマット設定をカスタマイズします。再生リスト、または iPod や iPhone 以外のポータブル デバイスに出力する場合のみ、ファイル フォーマット設定が有効になります。iTunes、iPod または iPhone に出力する場合は、ファイル フォーマットは自動的に iTunes オーディオ フォーマット(.m4b)に変換されます。MP3 ディスクに出力する場合、ファイル フォーマットは自動的に .mp3 に変換されます。
- **書名:**このテキスト ボックスを使用してオーディオブックのタイトルを編集します。
- **作者:**このテキスト ボックスを使用してオーディオブックの作者名を編集します。
- **カバー アートを変更:**このオプションを選択すると、カバー アートをオーディオブックに配置・適用できます。
- **カバー アートを削除:**カバー アートを削除する場合は、このオプションを選択します。

ヒント:カバー アートを変更する別の方法:コンピューター デスクトップからイメージ ファイルをサムネイルにドラッグ アンド ドロップします。

ヒント:カバー アート イメージの回りの白いスペースをトリミングするには、サムネイルを右クリックして **自動クロップ**を選択します。

ヒント:再生リストのトラックをすべて削除するには、カバー アート イメージをクリックし、ツール

バーの削除ボタンをクリックします。

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

オーディオ タグ エディター

オーディオ タグ エディターを使用してオーディオ タグを編集する

オーディオ タグ エディターを使用して、次の情報をオーディオ ファイルに関連付けることができます。

- タイトル
- アーティスト
- アルバム
- アルバム アーティスト
- ジャンル
- トラック番号
- 年
- BPM(ビート数/分)

この情報は手動で入力、あるいは識別機能を使ってオンライン音楽データベースで検索することもできます。

オーディオ タグ エディターにアクセスするには、複数の方法があります。

- Roxio ホームの音楽 - オーディオ プロジェクト タブで **曲情報を編集** を選択します。メディア セレクター ダイアログを使って編集する曲を選択します。
- Roxio ソフトウェア スイートの多くのアプリケーションにある**オーディオ タグを編集** ボタン、またはアイコンをクリックします。
- オーディオ ファイルを右クリックします。多くのアプリケーションに表示されるショートカット メニューには、**オーディオ タグを編集** のエントリーが含まれています。

トラック情報を識別機能を使って自動的に更新するには：

- 1 複数のトラックのタグを編集している場合は、変更するトラックを選択します。
- 2 Sound Editor では、複数のトラックを含むオーディオ クリップのタグを編集する場合、および 1 つのトラックの情報だけを追加または編集する場合は、タイトル ドロップダウン リストでそのトラック名を選択します。それ以外の場合は、選択したすべてのファイルを一緒に編集できます。
- 3 トラック情報をオンライン データベースで検索するには、**識別** をクリックします。
選択したトラックに一致するエントリが、オンライン データベースで検索されます。検索結果は、ステータス領域に一覧表示されます。ステータスの説明については、オーディオ タグを編集ダイアログ ボックスの **ヘルプ** をクリックしてください。
- 4 一致するエントリが複数見つかった場合は、**複数の一致項目** リンクをクリックし、使用する情報を選択します。
- 5 オンライン音楽サービスで見つかった情報を使用するには、**新規タグを適用する** チェック ボックスをオンにします。

ヒント： 新規タグはすべてのトラックに適用できるわけではありませんが、一部のトラックには適用できます。これらの操作を行うには、オーディオ タグ エディター ウィンドウの左側で、新規 タグを使用するトラックだけを選択し、**識別** をクリックします。

識別されたトラックの一部にオリジナルのタグを使うには、トラックを選択して、**リセット** をクリックするか、または **新規タグを適用する** をオフにします。

- 6 オーディオ タグを編集ダイアログ ボックスを起動したアプリケーションに応じて、次のオプションを使用できます。

- **オーディオ ファイルの内部にタグを埋め込むか、または置き換える(フォーマットでサポートされている場合)：**オーディオ ファイルと一緒にトラック情報を保存します。このオプションを選択しなかった場合、オーディオ タグ情報はこのプロジェクト内のトラックにのみ関連付けられます。(このオプションは、メタデータをサポートするファイル フォーマットに対してのみ使用できます。)

7 ダイアログ ボックスを閉じるには、**完了**をクリックします。

トラック情報を手動で編集するには:

- 1 トラック リストで、情報を追加または編集するトラックを選択します。
- 2 Sound Editor では、複数のトラックを含むオーディオ クリップのタグを編集する場合、および 1 つのトラックの情報だけを追加または編集する場合は、タイトル ドロップダウン リストでそのトラック名を選択します。それ以外の場合は、選択したすべてのファイルを一緒に編集できます。
- 3 変更するテキストを選択し、新しいテキストを入力します。
- 4 オーディオ タグを編集ダイアログ ボックスを起動したアプリケーションに応じて、次のオプションを使用できます。
 - **オーディオ ファイルの内部にタグを埋め込むか、または置き換える(フォーマットでサポートされている場合):**オーディオ ファイルと一緒にトラック情報を保存します。このオプションを選択しなかった場合、オーディオ タグ情報はこのプロジェクト内のトラックにのみ関連付けられます。(このオプションは、メタデータをサポートするファイル フォーマットに対してのみ使用できます。)
- 5 ダイアログ ボックスを閉じるには、**完了**をクリックします。

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

オーディオ コンバーター

オーディオ コンバーター

オーディオ コンバーターを使えば、以下のタスクを素早く実行できます。

- 1 つまたは複数のフォーマットおよびソース(オーディオ CD、暗号化されていない DVD-Video ディスク、ハードディスク、iPod など)から希望のオーディオ フォーマットにオーディオ ファイルやオーディオトラックを変換します
- オーディオ タグ情報に基づいてオーディオ ファイルの名前を自動的に変更する
- オーディオ ファイルやトラックをコンピューター上のある場所から別の場所に移動する
- オーディオ ファイルやトラックを iPod、PSP、MP3 プレーヤー、WMA プレーヤーなどのポータブル デバイスに転送する

トラックを追加

このボタンをクリックしてメディア セレクターを使用し、変換したいオーディオ ファイル、またはトラックを選択します。ファイルはハードディスク、CD、DVD、または iPod から選択できます。ファイルとデバイスのタイプが合えば、他のポータブル デバイスからオーディオ ファイルを追加することもできます。

オーディオ タグを編集

オーディオ ファイルを変換または転送する前に、このボタンをクリックして選択したファイルに対してオーディオ タグを更新します。オーディオ タグを編集ダイアログ ボックスが表示されます。

ヒント: 詳細については、オーディオ タグを編集ダイアログ ボックスの**ヘルプ**をクリックしてください。

変換

チェックを付けたオーディオ ファイルまたはトラックを、別のフォーマットに変換、移動、または名前変更するには、これをクリックします。

ポータブルに送信する

チェックを付けたオーディオ ファイルまたはトラックをポータブル デバイスに転送するには、これをクリックします。まず、保存先デバイスを選択します。オーディオ ファイル、またはトラックをデバイスに適したフォーマットに変換するには、**送信する前に推奨オーディオ フォーマットに強制変換**、次にドロップダウン リストから適切なフォーマットを選択します。

ページのトップへ

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.